

平成25年度病害虫発生予察予報第7号(10月)

平成25年10月2日
高知県病害虫防除所

(予報の概要)

作物名	病害虫名	予想発生量
カンキツ	そうか病	並
	黒点病	並
	かいよう病	並
	ミカンハダニ	並
	カメムシ類	多
施設野菜類 (ナス、ピーマン、キュウ リ、トマトなど)	ウイルス病	並
	うどんこ病	やや多
	ハスモンヨトウ	並
	タバコガ類	並
	アブラムシ類	やや多
	ミナミキイロアザミウマ	並
	タバココナジラミ	多
	ハダニ類	やや多
	ホコリダニ類	やや多

気象予報(高松地方気象台 平成25年9月27日発表)

<特に注意を要する事項> 9月28日から10月27日

期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、高い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<確率> (単位: %)

期 間	要 素	予報対象 地 域	低 い (少ない)		平 年 並	高 い (多い)
1ヶ月	気 温	四国地方	10	30	60	
	降 水 量		30		40	30
	日照時間		30		40	30
1週目	気 温	四国地方	10	30	60	
2週目			10	30	60	
3～4週目			20		40	40

<予報の対象期間>

1ヶ月 : 9月28日(土) ～ 10月27日(日)

1週目 : 9月28日(土) ～ 10月4日(金)

2週目 : 10月5日(土) ～ 10月11日(金)

3～4週目 : 10月12日(土) ～ 10月25日(金)

病虫害発生予想

1. カンキツの病虫害

1) 黒点病

予 想 発生時期: 並 / 発生量: 並

根 拠

(1) 9月の巡回調査では、温州みかん、中晩柑類ともに平年並であった。

(2) 向こう1か月の気象予報では気温は平年並～高い見込み、降水量は平年並の見込みで、今後も平年並～やや多で推移すると思われる。

対 策

(1) 10月になると夏秋梢の発生はなくなるので、仕上げ摘果と同時に、枯枝の除去に努める。

(2) 本病は降雨があると11月まで病勢が進展するので、降雨が連続する場合は薬剤散布を行うが、その際は、県病虫害防除指針に基づき使用時期に注意するとともに、周辺作物への飛散防止

に努める。

2) ミカンハダニ

予 想 発生時期:並 / 発生量:並
根 拠

- (1) 9月の巡回調査では、温州みかんは平年並であった。中晩柑類では県東部と中西部でやや多く、中央部、西部では平年並であった。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、やや温度が高い状態が続くと予想され、現状あるいはやや増加傾向で推移するものと思われる。

対 策

- (1) 秋ダニ(9月以降に発生するダニ)は増殖が速いことから、寄生葉率30～40%を目安にして、それを越えたとすぐに防除を行う。その際は、県病害虫防除指針に基づき薬剤を選定し、使用時期や周辺作物への飛散に注意しながら、かけムラのないように散布する。

3) カメモシ類

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 9月の巡回調査では、温州みかん、中晩柑類ともに、発生が多かった。フェロモントラップ調査でも、県中央部～中西部は平年に比べてやや多～多で推移している。

対 策

- (1) 被害は局地的に激しいことから、園内をよく観察し、発生を確認したら周辺作物への飛散防止に努めながら、遅れないように薬剤防除を行う。

2. 施設野菜類の病害虫

1) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生時期:並 / 発生量:並
根 拠

- (1) 9月の巡回調査において、ナスでは平年に比べて、やや少～並の発生であった。
- (2) 向こう1か月の気象予報から温度が高い状態が予想され、今後発生は増加傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) 薬剤散布は、県病害虫防除指針に基づき、かけ残しのないように花や葉裏へも丁寧にかける。特にキュウリでは黄化えそ病の媒介虫であることから、初期のハウス内への侵入防止及び防除の徹底に努める。
- (2) ハウスの開口部に防虫ネット等を被覆し、成虫の飛び込みを防ぐと共に、青色粘着資材の設置などにより、密度の把握及び低減に努める。

2) タバココナジラミ

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 9月の巡回調査では、県東部のナスで発生面積及び寄生株率が高く、中央部でも寄生株率が高くなっている。また、病害虫防除員からも、発生が多いという情報が寄せられている。
- (2) 向こう1か月の気象予報からも発生の減少要因はなく、現状の多発生で推移すると思われる。

対 策

- (1) 発生初期に防除する。県病害虫防除指針に基づき、かけ残しのないよう葉裏へも丁寧にかける。特にトマトやキュウリではウイルス病を媒介することから、初期のハウス内への侵入防止及び防除の徹底に努める。ただし、天敵を使った防除をおこなう場合は、使用する天敵に影響の少ない薬剤を選択する。
- (2) ハウスの開口部に防虫ネット等を被覆し、成虫の飛び込みを防ぐと共に、黄色粘着資材の設置

などにより、密度把握及び低減に努める。

3) アブラムシ類

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根 拠

- (1) 9月の巡回調査では、県東部から中央部のナスにおいて、発生は多かった。種類はワタアブラムシが中心であった。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、気温も平年並～高く、降水量は平年並と見込まれることから、減少の要因はなく、現状かやや増加傾向での推移が予想される。

対 策

- (1) 増殖が速く、また局部的に多発する場合があるので、発見が遅れないように注意し早めに防除する。なお、ネオニコチノイド系殺虫剤の感受性が低下したワタアブラムシの発生が確認されており、散布薬剤の選択には注意して下さい。
- (2) ハウスの開口部に防虫ネット等を被覆し、成虫の飛び込みを防ぐと共に、黄色粘着資材の設置などにより、密度把握及び低減に努める。
- (3) 天敵導入の際はアブラムシの種類に注意して効果のある天敵を導入する。なお密度の高くなった場合は、天敵に影響の少ない薬剤で密度を下げてから天敵を放飼する。

県民の皆様に提供する農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. 病虫害防除所ホームページ（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>

病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
病虫害発生予察技術資料
新しく問題となっている病虫害 etc.

2. こうち農業ネットサービス 当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。

- ・携帯電話を使った病虫害関連情報（どなたでも利用可能です）
 - <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/info/list.php?DID=328>(Iモード)
 - トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報：(ezweb)
 - 四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：(77-)
- 病虫害発生予察情報（概要）